

木祖産業協同組合のブランド化支援

環境・情報技術部門

地域資源製品開発支援センターは、平成20年4月に環境・情報技術部門内に開設されて以来、長野県各地域の固有技術や特産品のブランド化を目指し、地域資源活用型産業を創出する活動を行って来ました。木祖産業協同組合に「KISOMURA 木の匠」ブランドを立ち上げ、新商品の開発を支援したので、ご紹介します。



(角皿,丸皿,バター・ジャムナイフ)



(ワインクーラー)

図1 「KISOMURA 木の匠」ブランド開発商品



①現商品研究



②BK法で分析



③試作品評価



④プレス発表

図2 ブランド化支援

■ はじめに

木祖産業協同組合より、お六櫛、桶などの木工品の今後について相談がありました。組合で生産される従来品は、商品としての基本価値がすぐれているものの、デザインや宣伝活動の感性価値が十分でない、日常生活にマッチしていない等の問題がありました。そこで、利用しやすい新たな商品の開発と商品ブランドの立ち上げを目標にして研究会を開始しました。

■ ブランド化への取り組み

売れる商品やブランドづくりを総合的かつ計画的に進められるビジネス構築(BK)法を使い、現在の商品の強みと弱みを把握し、課題の抽出を行った結果、日常生活で気軽に使われる食卓用品を開発することにしました。「ちょっとモダンな」をコンセプトとした現代の感覚に受け入れられるデザインの商品を開発することにし、角皿をはじめとする商品を開発しました。これらは、手作業による匠の技を用い、製品の強度を保ちつつ、薄く加工し軽快でモダンな感じに仕上げました。

組合は、メンバーの気持ちを一つにした新たなブランド「KISOMURA 木の匠」を立ち上げ、さらに、商品開発を進めてこのブランドの浸透を図っていきます。

■ おわりに

木祖村は、木に関する特徴のある固有の技術や地域の資源が豊富にあります。この地域資源を生かした商品開発やブランド作りを引き続き支援していきます。

工業技術総合センター 環境・情報技術部門
人間生活科学部 沖 智明
TEL 0263-25-0981 FAX 0263-26-5350
E-Mail kankyojoho@pref.nagano.lg.jp